

移行期医療支援センター

スタッフ紹介



センター長
いえはら ともこ
家原 知子

(副院長、
小児科
診療部長)

副センター長
センター員

ま と ば さ と お き
的 場 聖 明 (循環器内科教授)
お だ し ん い ち り う
小 田 普 一 郎 (心臓血管外科教授)
か さ い た か し
笠 井 高 士 (脳神経内科准教授)
お お そ ね し ん や
大 曾 根 眞 也 (小児科准教授)
た ま が き け い い ち
玉 垣 圭 一 (腎臓内科講師)
な い だ う や す ゆ き
内 藤 泰 行 (泌尿器科講師)
な が に し な む の こ
中 西 直 彦 (循環器内科学内講師)
つ か も と た く
塚 本 拓 (血液内科学内講師)
お き む ら ひ ろ ゆ き
沖 村 浩 之 (産婦人科学内講師)
か し や ま よ う
梶 山 葉 (小児科助教)
い の う え ま ほ
井 上 眞 帆 (小児外科助教)
な か じ ま は な こ
中 島 華 子 (内分泌・糖尿病・代謝内科病院助教)
ま つ お け
松 尾 恵 美 (看護部 副看護部長)
な か じ ま る み
中 島 輝 美 (看護部 こども東病棟看護師長)
し ば ゆ り こ
柴 田 由 里 子 (看護部 こども西病棟看護師長)
た け の う ち な お こ
竹 之 内 直 子 (看護部 小児看護専門看護師)
な か い ゆ り こ
中 井 友 理 子 (がん相談支援センター、公認心理師・臨床心理士)
い ち め ち
櫻 木 知 子 (循環器病総合支援センター、看護師)

私たちの業務

当センターは2025年度から、京都府によって京都府移行期医療支援センターに指定されました。

小児期に病気になって成人以降も医療を受ける必要がある患者さんは、小児科等の小児専門の診療科から、内科等の成人専門の診療科へ移行して、診療を受けていくことになります。移行をスムーズに行うためには、患者さんの自立支援等の準備を段階的に進めるとともに、多診療科・多職種でそれぞれの患者さんに合った医療を立案して提供する必要があり、このための医療を移行期医療と呼びます。厚生労働省はすでに、小児慢性特定疾病児童等への移行期医療支援体制を、各都道府県で構築するよう要請しています。

そこで、患者さんが切れ目なく継続して良質な医療を受け、よい人生を歩んでいただくことができるよう支援をする場として、2023年に京都府立医科大学附属病院 移行期医療支援センターが設立されました。京都府全体の移行期医療の中核として役割を果たしていきます。

(1) 相談窓口

移行に関するご相談に、幅広く対応いたします。社会福祉支援に関するご案内や、就労・自立支援も行います。

(2) 移行期医療ケースカンファレンスの実施

移行期医療を受ける患者さんについて多診療科・多職種でカンファレンスを行い、それぞれの患者さんに最適な医療を検討し、提案します。

(3) 研修

移行期医療に関する研修会を開催し、院内外で移行期医療を担う人材を育成します。

(4) 地域医療機関・支援施設との連携

地域医療の充実、研修会、カンファレンス等を通じて、患者さんが地域でも質の良い医療を受けられることを目指します。

府立医大 移行期医療支援センター TEL 075-251-5834